



平成 30 年 7 月 3 日

各 位

会 社 名 三井海洋開発株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 宮 崎 俊 郎
(コード番号 6269 東証第1部)
問 合 せ 先 総務部 (TEL. 03-5290-1200)

オーストラリア沖合 Barossa 鉱区向け FPSO の基本設計業務を受注

三井海洋開発株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:宮崎俊郎)の米国子会社 MODEC International, Inc.社は、スーパーメジャーの1社である ConocoPhillips Company の子会社 ConocoPhillips Australia 社(以下「コノコフィリップス・オーストラリア社」)より、FPSO (Floating Production, Storage & Offloading system:浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備)の FEED(Front End Engineering Design:基本設計)業務を受注しました。

当社は、コノコフィリップス・オーストラリア社がオペレーターを務めオーストラリア沖合で開発中の Barossa(バロッサ)鉱区に設置予定の FPSO の基本設計業務と共にプロジェクトコストの積算業務を行います。

Barossa 鉱区は、オーストラリア・ダーウィンの北方約 300km 沖合に位置する海洋ガス田であり、ガス及びガスに随伴するコンデンセート(極めて軽質の原油)の生産が計画されています。

オーストラリア向け 5 基の FPSO を含め、これまでに 45 件を超える浮体式洋上生産設備の設計・建造実績を有する当社は、卓越した設計・建造実績や豊富な設備操業経験に基づき、また当社米国子会社の SOFEC, Inc. 社が有する係留技術の強みも活かし、技術的優位性のみならず経済性も追求した最適な FPSO の基本設計をコスト積算と共に提供し、鉱区開発プロジェクトの FID(Final Investment Decision:最終投資決定)後に見込まれる本 FPSO プロジェクトの受注も目指してまいります。

三井海洋開発株式会社について

三井海洋開発(MODEC)は、海洋石油・ガス開発プロジェクトに用いられる浮体式海洋石油・ガス生産設備の建造、チャーター、オペレーション&メンテナンスサービスを提供する日本で唯一の企業です。

<http://www.modec.com/jp>